

観光創造専攻

平成21年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語（横書き）で解答しなさい。

【問題1】

近年のサブプライムローン問題に端を発する金融危機により、急速な円高ドル安が進展したことは記憶に新しい。このような急激な為替変動が、我が国の観光業界にもたらす影響とその対策について論ぜよ。

【問題2】

観光客の満足度を向上させるには、受入れ側となる宿泊施設や地域そのもののホスピタリティを高めることが重要だと言われており、「沖縄県観光振興基本計画（平成14年度～23年度）」や「北海道観光のくまづくり行動計画（平成20年3月）」などに見られるように、自治体が地域住民に対して「おもてなし」の精神を持つよう働きかけることが増えてきている。こうした動向をふまえつつ、地域がホスピタリティ力を高めるための具体的方策について提案せよ。

【問題3】

アメリカの文明史家であるブーアスティンは、著書のなかで「イメージは人工的に作られるものである」と述べている。「観光地としてのイメージ」が、人々の中でなんらかの形で共有されていると思われる地域を例にあげ、イメージと観光との間にある相互関係について説明せよ。

出典：ダニエル J. ブーアスティン『幻影の時代』星野郁美・後藤和彦訳 東京創元社 1964